

## 【水彩画クラブ27】卒業後8年目の活動 2020年6.7月

### ◇第160回活動:2020年6月22日(月) 午後1時から 川越西文化会館・創作室

今回の創作室は十分な広さで、低めの流し場が蛇口数本もあった。厚い板テーブルで箱形の椅子が6台、5セットあった。1つのテーブルに2人ずつで3密が守れた。先生の方も同様のテーブルで、その後ろに白板もあった。マジックペン等は受付から借りられた。(創作室利用料は12:30~17:00で1,200円)

西文化会館では新型コロナウイルス感染防止対策が徹底しており(マスク着用義務)、受付で利用料を払った。受付表に団体名(美松会・水彩画クラブ)を記載し、帰りに提出する。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者名簿(日付、団体名、利用場所、参加者氏名、電話番号、発熱の有無)を書き記し、最低14日間の保管を要請された。

内ちゃん先生と久しぶりの再開を喜ぶ挨拶をしてから、白板に前回課題の『秋田・湯沢の桜』を掲示して、先生の画評を頂いた。「表現力の向上が認められます」との好評コメントでした。



新たな課題『秋田・湯沢の桜』の1回目が3ヶ月振りの活動が始まった。

各自自宅で、

水張りしたウォーターフォード水彩紙にデッサンし、2本の桜木間に桜の花を描き足していく。

枝分かれしたマスキングペンで、花周囲の花粒を、枝先へチョンチョンと動かしながらマスキングする。更に、白く見える花粒群にも同じマスキングペン先でチョンチョンとマスキングする。(直ぐにドライヤーで乾かす)

#### 1. 桜の花を描いていく。(2本の桜木と左端の桜木)

##### ① 桜の幹と枝を描いていく。

1) 鮮赤色を淡い目に水溶きしておく。

2) 小筆に淡い目に水溶きした鮮赤色を取り、課題写真を見ながら幹と枝を描いていく。桜花の所々見える小枝も描いていく。

3) 塗ってきた絵の具をドライヤーで十分に乾かしておく。

##### ② 桜の花を、明暗感を意識しながら描いていく。

1) 3種類の絵の具を水溶きしておく。

a) 明るい:朱色 b) 中間の色:赤色 c) 暗めの色:バラ色

2) 明るめの朱色を小筆に取り、白く見える花群近くに塗っていき、水筆で周囲をぼかしていく。

3) 中間色の赤色を小筆に取り、課題を見ながら少し暗く見える花群に塗っていき、水筆で周囲をぼかしていく。

4) 少し暗めのバラ色を小筆に取り、課題を見ながら奥目の濃い目に見える花群に塗っていき、水筆で周囲をぼかしていく。

5) 塗ってきた絵の具をドライヤーで十分に乾かしておく。

##### ③ 桜木の間に見える林の緑、水溶きした緑色を小筆に取り課題を見ながら小さめに塗っていき、直ぐに周囲を水筆でぼかしておく。

④ 塗ってきた色をドライヤーで十分に乾かしてから、塗ってきた夫々の花群(明るめの部分、中間の部分、暗めの部分)にマスキングペンでチョンチョンと花粒を描くようにマスキングしていく。

⑤ マスキングインクをドライヤーで十分に乾かしてから、前項②の2)、3)、4)の要領で夫々の部分に少し濃い目にして塗っていき、直ぐに水筆で周囲をぼかしていく。

- ⑥ マスキングインクをドライヤーで十分に乾かしてから、桜の幹と枝木を描いていく。
  - 1) 水彩色鉛筆の黒色で、幹や枝木を描くように塗っていく。
  - 2) 水溶きした黒色を小筆に取り、色鉛筆で塗ってきた幹や枝木をなぞるように描いていく。直ぐにドライヤーで乾かしておく。
- ⑦ 桜木の所々に見える黒っぽい影のような桜花に、水溶きした黒色+バラ色の混色を小筆に取り、課題を見ながらチョンチョンと点で置くように描いていく。
- ⑧ ドライヤーで塗ってきた色を十分に乾かしてから、ラバークリーナーで擦りながらマスキングした部分をきれいに剥し取っていく。但し、桜木の周囲部分に施したマスキングインクは、奥に見える紅葉林や杉林を描いていく時のために残しておく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

2. 次回(7月12日(日))の活動予定 川越西文化会館・創作室

次回までに描いてくる宿題

- ① 下部の土手上から見える紅葉の林部分を描いてくる。

## ◆第161回活動:2020年7月12日(日) 午後1時から 川越西文化会館・創作室

西文化会館・創作室での活動:2回目が始まった。

先週10日(金)に臨時役員会が開催され、10月に計画されていた”会員交流会・バス旅行”の中止を決めた。本年度の事業計画を中止としたため、会費の徴収を取り止めとした。徴収済みの会費を会員へ返金した。

美松会主催の”美術展”を、いつもの東松山市立図書館の展示室を、市内在住の田中さんに申込み手続きをお願いし、11月10日(火)~15日(日)の期間を取得した。

12時頃に受付で手続きをした。利用料は休日利用の為1,500円を支払い、領収書を預かった(会計担当の坂本さんに渡した)

受付で参加者名簿用紙を渡され、氏名・電話番号・発熱の有無を記載し、14日間の保管を要請された。

課題『秋田・湯沢の桜』の2回目習作が始まった。

各自自宅で、桜木下の土手上から、桜木の奥にある紅葉の林を描いてきた。

1. 桜木後ろに見える杉林を描いていく。

- ① 桜花のチョンチョンと見える白い花先を、マスキングペンの先端で白い花粒にチョンチョンとマスキングをしていく。直ぐにドライヤーで十分に乾かしておく。
- ② 中央部から右側に続く青黒く見える杉林を描いていく。
  - 1) 暗い青色の水彩色鉛筆の先端で、三角錐のような杉木の濃いところを擦るようにして、濃い目に見える部分だけに色をつけていく。
  - 2) 小筆の水筆の先端で、擦るように動かして色鉛筆で描いたところをぼかしていく。
  - 3) 水溶きした緑色を小筆に取り、淡い目に杉木の中に色をおいていく。塗ってきた杉木の色をドライヤーで十分乾かしていく。

2. 左側の山を描いていく。

- ① 左端の桜木の右側に見える2本の木、それに見える木をマスキングペンで描くようにマスキングしていく。ドライヤーで直ぐに乾かす。
- ② 左の桜木脇から山頂までの黄緑の木々を描いていく。
  - 1) 葉っぱ群の白っぽく見えるところに、マスキングペンでチョンチョンとマスキングしていく。直ぐにマスキングインクを十分に乾かす。
  - 2) 木々の色を水溶きしておく。
    - a) きみどり色を水溶きしておく。
    - b) 暗めの緑色を水溶きしておく。
  - 3) 水溶きしたきみどり色を小筆に取り、木々毎に成るべく淡いめに塗っていく。直ぐに水筆で周囲にぼかしていく。
  - 4) 水溶きした明るい緑色を小筆に取り、暗めに見える木立の影部分に塗っていき、直ぐに水筆で周囲にぼかしていく。
- ③ 青黒く見えているところを塗っていく。
  - 1) 暗い青色をつくる。
    - a) きみどり色に木灰色を混色して暗い黄緑色をつくり、水溶きしておく。
    - b) 暗青色に黄色を混色して暗い緑色をつくらせて水溶きしておく。
  - 2) 木立間の暗い部分に、課題写真を見ながら小筆に取ったa色を薄目に塗っていき、直ぐに水筆でぼかしていく。
  - 3) 暗めの濃いところ(青黒っぽい杉木)に、課題写真を見ながら小筆に取ったb色で薄めに塗っていき、直ぐに水筆でぼかしていく。

左上に見える青黒い杉木は、杉の木のように先端部をとがらせるように描いていく。

④ 左側上から右側に見える山峰を描いていく。

1) 黄緑色を小筆に取り、課題写真を見ながら山峰を描いていく。木立群を意識しながら水筆でぼかしていく。

2) 木立群の境い目を意識しながら、前項でつくった暗い緑色などを小筆に取り、成るべく薄目に塗っていき、直ぐに周囲を水筆でぼかしていく。

※ 今日の活動はここまでで終わった。

3. 次回(7月27日(月))の活動予定 川越西文化会館・創作室

次回の活動で仕上げていく。

※ 先月亡くなられた関矢さんに(旅行積立金27,000円)をお返すため、活動終了後に黒澤さんと訪問した。

居間に小さなご仏壇があり、笑顔の関矢ちゃん遺影に向かい、手を合わせてご冥福を祈った。奥様と思い出を話しあった後に近くのお墓に案内された。墓前に手を合わせご冥福をお祈りして、お別れした。

## ◇第162回活動:2020年7月27日(月) 午後1時から 川越西文化会館・創作室

西文化会館・創作室での活動:3回目が始まった。

12時頃に受付で利用料1,200円を支払い、領収書を預かった(会計担当・坂本さんに渡した) 受付で今日の参加者数を書く書類を貰い、書き込んで帰りに提出した。前回まで書かされた「参加者名簿」は今回は要請されなかった。

8月の活動日を前回(12日)終了後に受付で予約手続きを行った。8月第4月曜の24日を希望したが、午前・午後共塞がっていたので内ちゃん先生と相談し、25日(水)と26日(木)を確認したが両日共に塞がっていた。

改めて22日(土)午後を希望した処、運よく空いていたので即予約した。部屋に戻ってみんなに伝えた。

課題『秋田・湯沢の桜』の3回目習作が始まった。

1. 下方の桜木が生えている土堤に、次の点を注意しながらマスクングをしていく。

① 土堤の一番上に白く直線状に見える所にマスクングする。

マスクングペンで直線ではなく、ペン先でチョンチョンと草が生えていることを意識してマスクングしていく。

② 課題写真の土堤を見て、草が明るく見えている所(右端、左側の草ムラ)に小筆でさっと水を塗ってから、マスクングしていく。

③ 土堤の一番下に土が見えている上側に、直線状に明るい土色部分に線状に左から右へとマスクングしていく。

マスクングが終わったら、ドライヤーで十分に乾かしておく。

2. 山峰の奥に霧のような淡い白雲が多い、薄っすらと見える針葉樹林の暗い青色や、広葉樹林の紫っぽいところを描いていく。

① 青い針葉樹林と紫っぽい広葉樹林の色をつくる。

a) 青い針葉樹林の色

深青色に少し鮮青色を混色して水溶きし、最後に紫色を少し混ぜて暗青色を水溶きしておく。

b) 紫っぽい広葉樹林の色

紫色を水溶きし、そこに少しずつ深青色と鮮青色を混色し、水溶きしておく。

② 山峰の上前面にハケで水を塗っていく。水分が余分にならないように気を付けること。

③ 青い針葉樹林の色をなか筆に取り、課題を見ながら青っぽい影に色を塗っていき、直ぐに水筆で周囲を剥していく。

④ 次に紫っぽい広葉樹林の色を中筆に取り、課題を見ながら紫っぽい影に塗っていき、直ぐに水筆で周囲を剥していく。

塗り終わったら、ドライヤーで十分に乾かしておく。

3. 桜木が生えている土堤を仕上げていく。

① 茶色に見える所に、課題を見ながら水溶きした赤茶色(こげ茶色に赤色を混色)を小筆に取り淡い目に塗っていく。

一番下の濃い目に見える所には、同じ赤茶色を少し濃い目に塗っていく。

② 課題を見ながら草が生えている所には、水溶きした黄緑色や緑色を小筆に取り、淡い目に描いていく。盾にギザギザと小筆を動かして草を意識しながら塗っていく。

③ 所々に見える暗い影の部分は、前項①や②の色に黒色を少し混ぜた色を小筆に取り描いていく。

塗り終わったら、ドライヤーで十分に乾かしておく。

※今日の活動はここまでで終わった。未完の人は自宅で仕上げておく。

4. 次回(8月22日(土))の活動予定 川越西文化会館・創作室

次回から習作していく新しい課題写真『岩手・久慈湾海岸』が配られた。

宿題で用意してくる。

① 手本用の写真(A3判タテ形)2枚を接合部で貼り合わせ、手本台をつくる。

- ② 水張りしたF8(or F10)のウォーターフォード水彩紙にデッサンする。
- ③ 岩の水際に岩の形を意識しながらマスクングしていく。  
岩肌に見える白いしぶきにもマスクングしていく。